

△参考資料4▽

桜川を自然公園に

桜川は、土浦市民と周辺の人々に残された貴重な自然です。この自然を守り土堤をみんなのいこいの場にするためにはみなさんの協力が必要です。

何よりもまず自動車で桜川の土堤を通らないようにしましょう。土堤が車から解放されればどんなに素晴らしいでしょう。小さな子どもたちは草を摘み、仕事帰りの人々や老人はのんびりと散歩することができましょう。そして長い堤は、中学生や高校生の絶好のマラソンコースとなり、休日には家族連れで遠足やサイクリングを楽しむことができます。

このようなことは決して夢ではありません。みんなが車で土堤を通らないというほんの少しの不便をしのげば今すぐにも実現するのです。

みなさん、桜川の土堤を車で通らないようにしましょう。そして、桜川を霞ヶ浦と筑波山の二つの国定公園を結ぶ自然公園にしましょう。

土浦の自然を守る会

△参考資料5▽

北筑波稜線林道建設反対

国立公園や国定公園内に建設される観光道路が自然を最もひどく破壊している事実は、富士スバルラインを始め現在多くの山岳観光道路がもたらっている。

特にその中でも自然公園内の自動車道路建設による自然破壊は自然生態系を根本から破壊し、水分の収支の変化を起し、又は連鎖的にその地域の植物を枯したり、動物を死滅させる大きな原因にもなることを私達人間は生物の一員として「ヒト」として知るべきである。筑波山系の二つの車道建設計画にしても県当局は林産物の搬出と観光のための交通体系整備が主な目的と云われているが筑波山系の屋根に車道造って一体どのような林産物を搬出しようとするのか、私たち自然保護協議会は関係当局に明らかにしてもらいたい。国定公園として今の筑波山系の姿を見るがよい。砂利と石材の採取で山ハダは大きくえぐられておりそれに加えて表筑波にはカントリークラブ、赤城正武社長の手によるゴルフ場建設が行なわれ緑の自然は大きく失なわれている。

県当局と県道路公社の関係者は「自然公園は一部の人間